

MIEコーポレーション

配管システム受注強化へ

高機能材品を提案営業

ステンレス製管継手などの製造、販売を手掛けるMIEコーポレーション（本社・三重県桑名市、社長・永井賢治氏）は、チタン合金をはじめとする高機能材料を使用した配管システムの受注拡大に

注力する。一貫生産体制の強みをPRし、需要への提案営業を積極推進。高付加価値分野の強化を通じた業務の強化を目指す。MIEコーポレーションは、構造改革による基盤強化を旗印として、付加価値が高いステンレス配管事業の強化による収益性向上に取り組んでいる。これまで船舶向けで着実に

受注実績を伸ばしており、近年では事業の柱に育っている。足元でも3万ト級のケミカルタンカー向けや、既存船に設置するスクラバー（脱硫装置）向けシステム需要が底堅く推移。配管関連事業は高稼働を維持する。

メーカーの受注残も大幅に減少。世界経済の先行き不透明感を受け、化学プラントなどで、大規模設備向けシステムの引き合いも減る傾向にある。そこで、高い耐食性が求められる地域での使用を想定したチタン合金、ニッケル合金、酸素配管向けなどでのアルミ合金と

動を強化。需要の裾野を広げ、配管システム事業の拡大を図る方針を打ち出した。同社は近時、ユーザとの関係強化、素材からシステム製作までを一貫して手掛けられる体制に基づく提案営業など、能動的な取り

組みで新規分野での受注獲得につなげてきた。永井社長は「これまで船舶向けを中心に築き上げた実績をPRしながら、需要開拓に向けた取り組みを進めた」としている。

といった、高機能材料製配管システムの受注活